

令和5年度包括外部監査結果に基づき講じた措置等の状況（「意見」について）

包括外部監査結果報告書記載内容	措置等の状況（見解・今後の対応の方向性等）
第3章 包括外部監査の結果（監査結果及び意見）	
第2 公益財団法人大阪府国際交流財団（所管部局：府民文化部）	
8 監査の結果及び意見	
<p>【意見8】経営目標における指標の見直し 【府民文化部】</p>	<p>OFIXは、経営目標の中で財務基盤の強化という目標の成果測定指標として「収入確保策」を挙げているが、OFIXの役割を踏まえた合理性のある指標を導入すべきである。</p> <p>前中期経営計画（平成30年～令和4年）では、経営目標の中で財政基盤の強化という目標の成果測定指標として、基本財産のあり方を含む府の財政負担について検討されるなかで、国・民間の助成金、委託事業等を活用し、さらには、収益事業を実施することも見据えて新たな収入確保を目標とした「収入確保対策」を掲げていたが、現中期経営計画（令和5～9年度）への見直しにあたり財団が「多文化共生の拠点機関」としての機能を発揮するために、「安定的な資産運用、外部資金の獲得などに努め、さらなる財政基盤の強化をめざす」としている。この目標達成を目指すための取組には、種々の収入確保策はもとより、事業効率化により費用の縮減を図り、収支を改善させることを掲げている。このことから、成果指標を「実質収支差額（評価損益等調整当期経常増減額より、特定資産取崩額を除く）」に変更を行った。</p>